

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日呼外会誌 21(5):740-752	肺癌登録合同委員会；1999年肺癌外科切除例の全国集計に関する報告。	蘇原泰則	呼吸器外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg 55(8):328-330	Chronic diaphragmatic hernia.	遠藤俊輔	呼吸器外科
Thorac Cardiovasc Surg 56(1):25-27	Descending necrotizing mediastinitis secondary to retropharyngeal abscess without cervical spread.	遠藤俊輔	呼吸器外科
胸部外科 60(4):290-290	巨大肺囊胞の手術—囊胞の処理。	遠藤俊輔	呼吸器外科
専門医通信36:15-22	降下性壊死性縦隔炎の取り扱い方—胸部外科側の立場から。	遠藤俊輔	呼吸器外科
胸部外科 61(2):122-125	気管支先行切離に胸腔鏡下左肺上葉悪性腫瘍手術—肺動脈を安全に切離するために。	遠藤俊輔	呼吸器外科
胸部外科 59(12):1061-1061	まい・てくにっく；低侵襲開胸法としての腋窩前方開胸。	遠藤俊輔	呼吸器外科
気管支学 30(1):25-28	ガイドワイヤー下に気管支充填術を施行し治療した有瘻性膿胸の1例。	山本真一	呼吸器外科
胸部外科 61(3):195-198	気管支腔内にポリープ状に発生したinflammatory pseudotumor.	手塚康裕	呼吸器外科

計 9

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)

2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当つて内容審査を行つてゐる雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)

2 「発表者氏名」欄は、二つの論文発表について発表者が複数いる

「先表者氏名」欄は、上の論文先表について先表者が複数いる場合には、主たる先表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hypertension Research 2007;30:151-159	Alterations in placental growth factor levels before and after the onset of preeclampsia are more pronounced in women with early onset severe preeclampsia.	Ohkuchi A	Obstetrics and Gynecology
Mol Cancer Ther 2008, 7:704-711	Overexpression of PTEN in ovarian cancer cells suppresses intraperitoneal dissemination and extends survival in mice.	Takei Y	Obstetrics and Gynecology
Int J Gynecol Cancer 2008, 18:165-167	Omental metastasis in clinical stage I endometrioid adenocarcinoma.	Fujiwara H	Obstetrics and Gynecology
Fertil Steril 2007, 88:1207-1211	Immunohistochemical study of osteopontin and L - selection in a rat endometriosis model and in human endometriosis.	Odagiri K	Obstetrics and Gynecology
Fertil Steril 2007, Dec1 (Epub)	Oral eicosapentaenoic acid supplementation as possible therapy for endometriosis.	Netsu S	Obstetrics and Gynecology (大宮)
Am J Reprod Immunol 2007, 58 (4) :330-343	Gene expression profiling of the rat endometriosis model.	Konnno R	Obstetrics and Gynecology (大宮)
血管医学 2007, 8:19-27	妊娠高血圧腎症と可溶性Flt-1	大口 昭英	産科婦人科学

計 7

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当つて内容審査を行つてある雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)

2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

計 4

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)  
2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

計 6

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)

2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2 論文発表の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
栃木歯医会誌 59:53-56, 2007年9月	下顎埋伏智歯抜歯後の有害事象の検討	中山竜司	歯科口腔 外科学
栃木歯医会誌 61-63, 2007年9月	口底部に発生した比較的大きな神経鞘腫の1例	佐瀬美和子	歯科口腔 外科学
栃木歯医会誌 59:69-71, 2007年9月	口腔内に生じた転移性肝細胞癌の2例	高橋淳	歯科口腔 外科学
栃木歯医会誌 59:65-68, 2007年9月	当科における薬剤性歯肉増殖症患者についての臨床的検討	寺内由佳	歯科口腔 外科学
栃木歯医会誌 59:57-59, 2007年9月	頸下部ガス產生性蜂窩織炎の1例	山中学	歯科口腔 外科学
口腔腫瘍 19(3):163-175, 2007年9月	アンケート調査よりみた舌扁平上皮癌治療の現状と問題点	前田顕之	歯科口腔 外科学
日口外誌 53(5):297-300, 2007年5月	G-CSF產生腫瘍と診断した上顎歯肉扁平上皮癌の1例	野口忠秀	歯科口腔 外科学
日口診誌 20(2):360-363, 2007年10月	下唇の麻痺を主訴とした下顎枝へのリンパ腫浸潤の1例	小尾友梨	歯科口腔 外科学
歯科放射線 47(1):38-39, 2007年8月	術前の超音波検査で頸動脈の内膜肥厚を認めた口腔癌の2例	篠崎泰久	歯科口腔 外科学
自治医科大学紀要 30:67-72, 2007年12月	埋伏永久歯に対する小矯正治療 (Minor tooth movement) の有用性	篠崎泰久	歯科口腔 外科学
栃木歯医会誌 59:85-87, 2007年9月	癌再発後の抑うつ状態が増悪し口腔癌治療に苦慮した1例	土屋欣之	歯科口腔 外科学
栃木歯医会誌 59:89-93, 2007年9月	口腔外科小手術における静脈内鎮静法の有効性の検討	福島聰	歯科口腔 外科学
歯科放射線 47(1):36-37, 2007年8月	上顎骨前歯部の歯根囊胞を疑ったLangerhans cell histiocytosisの1例	上野泰宏	歯科口腔 外科学
日口外誌 53(8):486-489, 2007年10月	口角部硬性下疳を伴った梅毒性頸部リンパ節炎の2例	上野泰宏	歯科口腔 外科学
日口診誌 20(2):364-366, 2007年10月	口腔扁平苔癬から17年後に悪性化したと考えた扁平上皮癌の1例	山下雅子	歯科口腔 外科学
日口外誌 54(3):169-172, 2008年3月	上下顎骨に多発した単純性骨囊胞の1例	池田 薫	歯科口腔 外科学

計 16

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2 論文発表の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

計 2

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)

2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる

元気な武吉の精神は、この論文を元吉に、元吉を元吉の後継者として、元吉の元吉を元吉と記入すること。